

## 2020年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年1月9日

上場会社名 株式会社グラフィートデザイン 上場取引所 東  
 コード番号 7847 URL https://www.gd-inc.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 拓郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部部長 (氏名) 窪田 悟 TEL 0494-62-2800  
 四半期報告書提出予定日 2020年1月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年2月期第3四半期の業績 (2019年3月1日～2019年11月30日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期第3四半期	2,075	△10.6	99	△66.0	93	△71.5	67	△69.2
2019年2月期第3四半期	2,320	4.3	292	△0.5	327	8.7	218	14.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期第3四半期	10.42	—
2019年2月期第3四半期	34.01	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年2月期第3四半期	5,632	4,372	77.6
2019年2月期	5,459	4,451	81.5

(参考) 自己資本 2020年2月期第3四半期 4,372百万円 2019年2月期 4,451百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年2月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2020年2月期	—	0.00	—		
2020年2月期 (予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年2月期の業績予想 (2019年3月1日～2020年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,600	△12.3	140	△60.6	130	△65.3	90	△63.7	14.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

(注) 詳細は、添付書類P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年2月期3Q	6,945,600株	2019年2月期	6,945,600株
② 期末自己株式数	2020年2月期3Q	479,064株	2019年2月期	516,064株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年2月期3Q	6,452,543株	2019年2月期3Q	6,429,536株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（注）本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第3四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	6
(追加情報) .....	6
(重要な後発事象) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における経営環境は、雇用・所得環境等の堅調な回復の下支えを背景に緩やかな回復基調で推移しましたが、2019年10月の消費税増税による消費マインドの冷え込みや、また、頻発する自然災害による景気の下振れリスクが存在することとなり、先行き不透明な状況で推移しております。

ゴルフ業界におきましては、黄金世代と呼ばれる若手女子プロ選手の活躍や人気男子プロ選手の復活優勝に加えて、ゴルフ場入場者数の回復傾向が見られましたが、ゴルフ用品市場の購買力に勢いがいない状況が続いております。その中で女子メジャーツアーでの優勝の快挙、日本初のPGAツアー開催等により、ゴルフクラブ使用モデル、使用シャフトにブームが巻き起こったため、売れるモデルに偏りが生まれ、当社が発売した2020年ツアーADシャフトの勢いを抑え込まれる形となってしまいました。

このような状況の中、当社はゴルフシャフト等の製造販売事業を中心に受注量の拡大等に傾注してまいりましたが、第3四半期会計期間における売上高が予想を下回り、減収減益となりました。

この結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高2,075,363千円（前年同期比10.6%減）、営業利益99,260千円（前年同期比66.0%減）、経常利益93,367千円（前年同期比71.5%減）、四半期純利益67,249千円（前年同期比69.2%減）となりました。

セグメントの業績については、下記のとおりであります。

当社の報告セグメントは、スポーツ用品関係の専門メーカーとして、ゴルフシャフト等の製造販売を柱とし、その他ゴルフクラブ組立加工事業を行っております。

したがって、当社は、スポーツ用品関係の専門メーカーであり単一セグメントであるため、記載を省略していませんが、売上集計区分である売上構成について記載しております。

部門の名称	当第3四半期累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	前年同期比 (%)
ゴルフシャフト製造販売 (千円)	1,856,849	△ 12.4
ゴルフクラブ組立加工及びその他 (千円)	218,513	8.9
合計 (千円)	2,075,363	△ 10.5

## (2) 財政状態に関する説明

## 資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第3四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ172,491千円増加し、5,632,480千円となりました。

主な要因は、流動資産において、法人税等の支出により現金及び預金が59,796千円減少したものの、売上債権が213,248千円増加したことによるものであります。

## (負債)

当第3四半期会計期間末の負債総額は、前事業年度末に比べ251,775千円増加し、1,260,069千円となりました。

主な要因は、仕入債務が32,360千円減少したものの、短期借入金が増加したことによるものであります。

## (純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産については、前事業年度末と比べ79,284千円減少し、4,372,410千円となりました。

主な要因は、四半期純利益67,249千円の計上となった一方、配当金の支払い決議が160,738千円発生したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は77.6%となり前事業年度末と比べ3.9ポイント減少しました。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績見通しにつきましては、今後も厳しい経営環境が続くことが予想されます。新製品の投入による販売の活性化や利益改善の継続などにより売上及び利益の向上を目指してまいります。

2019年12月27日付で公表いたしました業績予想について、予想数値に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は業況の変化等により予想数値と異なる場合があります。今後、業績予想数値の修正の必要が生じた場合には、適時適切に開示を行ってまいります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年2月28日)	当第3四半期会計期間 (2019年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,460,949	3,401,152
受取手形及び売掛金	503,903	717,152
商品及び製品	166,892	211,858
仕掛品	74,728	74,257
原材料及び貯蔵品	72,097	64,293
その他	38,052	22,402
貸倒引当金	△502	△704
流動資産合計	4,316,122	4,490,413
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	586,952	566,091
土地	195,701	195,701
その他（純額）	71,302	76,729
有形固定資産合計	853,955	838,522
無形固定資産	34,829	38,344
投資その他の資産	255,080	265,199
固定資産合計	1,143,865	1,142,066
資産合計	5,459,988	5,632,480
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	201,616	169,255
短期借入金	354,502	626,801
未払法人税等	74,394	—
賞与引当金	38,128	5,473
その他	61,978	159,707
流動負債合計	730,619	961,237
固定負債		
退職給付引当金	49,892	62,138
役員退職慰労引当金	150,561	158,470
資産除去債務	77,219	78,224
固定負債合計	277,673	298,832
負債合計	1,008,293	1,260,069

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年2月28日)	当第3四半期会計期間 (2019年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	589,612	589,612
資本剰余金	582,653	582,653
利益剰余金	3,750,019	3,641,175
自己株式	△456,164	△423,456
株主資本合計	4,466,121	4,389,985
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△14,426	△17,574
評価・換算差額等合計	△14,426	△17,574
純資産合計	4,451,695	4,372,410
負債純資産合計	5,459,988	5,632,480

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)
売上高	2,320,893	2,075,363
売上原価	1,213,385	1,137,855
売上総利益	1,107,508	937,507
販売費及び一般管理費	815,261	838,246
営業利益	292,246	99,260
営業外収益		
受取利息	1,500	957
受取配当金	525	529
為替差益	29,440	—
雑収入	6,412	4,079
営業外収益合計	37,878	5,565
営業外費用		
支払利息	2,001	1,928
為替差損	—	9,458
雑損失	412	71
営業外費用合計	2,413	11,458
経常利益	327,712	93,367
特別利益		
固定資産売却益	—	1,824
保険解約返戻金	3,138	11,080
特別利益合計	3,138	12,904
特別損失		
固定資産除却損	154	11
特別損失合計	154	11
税引前四半期純利益	330,695	106,260
法人税、住民税及び事業税	124,692	57,247
法人税等調整額	△12,634	△18,236
法人税等合計	112,057	39,010
四半期純利益	218,638	67,249

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2019年5月29日開催の取締役会の決議に基づき、2019年6月13日付で、譲渡制限付株式報酬として自己株式37,000株の処分をいたしました。この結果、当第3四半期累計期間において利益剰余金が15,355千円減少、自己株式が32,708千円減少し、当第3四半期会計期間末において利益剰余金が3,641,175千円、自己株式が423,456千円となっております。

（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

該当事項はありません。

（追加情報）

（「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用）

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

当社の報告セグメントは、スポーツ用品関係の専門メーカーとして、ゴルフシャフトの製造販売を柱とし、その他ゴルフクラブ組立加工を行っております。

従って、当社は、スポーツ用品関係の専門メーカーであり単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。